

70 A 222.4
(133 A 331)

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告
昭34-4480

公告 昭 34.3.30 出願 昭 32.3.2 実願 昭 32-9037

出願人 考案者 菊 地 武 範 大阪市城東区蒲生町2の56タイガ
一魔法瓶株式会社内
代理人 弁理士 鶴 田 将 (金2頁)

魔 法 壺

図 面 の 略 解

図面は本案品の一部欠截正面図である。

実 用 新 案 の 説 明

本考案は比較的口径の大きな所謂中口魔法壺の栓体の改良考案であつて密閉用栓体にキルグ栓等を使用しないで緊密な閉塞ができると共に栓体が妄りに内容温湯等の圧力により脱外せずしかも小スプーン等の器具を上面に收容し或いはコップ等として代用し得べくなしたる構造に関するものである。

図中1は所謂、中口魔法壺で金属等のケース2内にその口部3及パツキング4とにより非動揺的に收容される、5は口部4にその鏝部6が接するコップ状の栓体でその下部外周面には外周縁が上向きに突出する環状片7を具え更に上縁部8は外方え反曲して弾力性を發揮す、8は栓体5の小器具等の收容空所、10は冠蓋でその天井の内面は栓体5の上縁部8に圧接し且下部11には口部3の止着用の螺旋12等に係止する突起13を突成する。尚栓体5は耐熱性であると共に多少の撓曲性を有するポリエチレン等の如き材料にて構成するのが

よい。

本考案は叙上のように栓体5の上部に外部周縁に端縁を外方にラツパ状に拡大した周縁8を設け且上向きに傾斜する環状片7を設けたから壺口への挿入を容易とするは勿論壺体の動揺その他により壺内の空気圧力が上昇するも栓体5は最上部の弾性周縁8を撓曲すると共に環状片7の壺口頭部に接する外周側縁を中心として少許上昇することにより壺内圧の高騰を緩和抑制するから壺体の破損を防止するのみでなくたとえ逆に壺内容物の冷却により減圧するも栓体5の上部の鏝6により吸い込まれるのを防止する等の諸多の実益がある。

登 録 請 求 の 範 囲

図面に明示する通りケース2内に口部3により收容されたる魔法壺1の口部を下部周面に外端が上向きに傾斜する環状片7を突成せるコップ状の撓曲性のある例えばポリエチレン質等の栓体5で栓塞し更に右栓体5はその上部の周縁8を外方え拡大して弾力性を有せしめて之を口部3に止着せる冠蓋10の内面に弾圧的に圧接せしめて成る魔法壺の構造。

(2)

實用新案出願公告
昭34-4480

